

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響で、サッカーショップの商品が、例年より8、9倍売れている。	・客の購買意欲が若干高まっており、6月は売上目標を達成している店舗が増加している。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・気温が低く、夏物の売行きは厳しいが、店全体では来客数の2桁の伸びに加え、1人当たりの販売点数も2点程度増加しており、単価の低下を販売量の増加でカバーしている。	・6月1日から酒の販売を開始し、酒の売上は平均で1日の売上の5%を占めている。来客数も若干増加し、タバコの販売量も微増となっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数の減少に歯止めをかけるため、販売方法に変化をつけ、来店歴のある顧客への働きかけを行ったことにより、客の決定率、購入点数が上がり、売上が増加している。	・サッカーワールドカップの影響が、来客数は依然として伸び悩んでいるものの、高額品等、良い商品の動きは順調で、売上はやや増加している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・文化団体等の予約について、従来は低下していた単価が、上昇してきている。	・サッカーワールドカップの日本戦終了後、客が本来の消費行動に戻りつつある。
		衣料品専門店（店長）	それ以外	・サッカーワールドカップ開催で、暗いニュース、悪いニュースが流れなかったためか、6月中旬からはかなりの人出があり、売上も多少回復している。	・CATV及びケーブルインターネットの販売量が、ともに増加している。
		その他専門店〔眼鏡〕（店員）	単価の動き	・来客数が8%増加している。	・3か月前と比べると、住宅を購入する客の数が格段に増加している。即決はせず、2週間から1、2か月検討した後ではあるものの、住宅購入の動きは活発になっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・来街者数が安定せず、増加したり、減少したりの状態が続いている。	・近隣の観光名所で大型イベントが実施され、オーパーブラウス、ジャケットは9800円を上限に、インナーやTシャツは5900円の商品を中心に値ごろ品が売れたが、全体的な売上は変わらず、横ばいである。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・サッカーワールドカップ開催で、人通りが極端に少ない日何日もあり、売上に響いている。	・6月はサッカーワールドカップ開催や天候不順の影響で、店頭への来客数が減り、売上も減少しているが、外商は相応の成績である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・買上点数は多少増加しているが、依然として特売志向が根強く、売上の増加は難しい。	・カード会員優待会、中元優待会等による売上を除くと、この数か月の売上は同水準で推移しているが、来客数は2～3%前後下回っている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・服飾雑貨、食料品及びお中元の売上は好調であるが、婦人服、紳士服等の衣料品は、夏のセールを前倒して行っても売上に結び付かない。	・6月は梅雨寒で、アパレル関係が苦戦しており、婦人物は過去にないほど悪い状態である。
	観光名所（職員）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響で、日本戦がある日は売上が落ちている。	・6月前半は天候も良く、来客数、客単価ともに上昇したが、梅雨入り後はいずれも低下し、衣料品、雑貨を中心に売上が減少している。	
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・6月後半は天候も良く、来客数、客単価ともに上昇したが、梅雨入り後はいずれも低下し、衣料品、雑貨を中心に売上が減少している。		
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き		
		一般小売店〔衣料・雑貨〕（経営者）	お客様の様子		
		一般小売店〔文具〕（経営者）	それ以外		
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	販売量の動き		
		百貨店（副店長）	単価の動き		
		百貨店（企画担当）	来客数の動き		
百貨店（営業企画担当）		来客数の動き			
百貨店（販売促進担当）		販売量の動き			
スーパー（店長）		単価の動き			

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・5月は客の動きが多少良かったが、6月に入り、サッカーワールドカップの試合放映日には来客数が激減したこともあり、売上が以前の水準に戻っている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・6月は例年と比べて気温が低く、衣料品の売行きが芳しくない。
		家電量販店（店長）	競争相手の様子	・競争相手の規模が大きく、粗利が取れない。単価も低下しているため、売上が増加しない。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・高額車に関し、客の購買意欲が高まっていない。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・毎週イベントを開催しているが、来客数が増加していない。購入意欲はあるものの、やはり車検を取ってもう少し乗ろうと考え直す客も多く、販売台数もそれほど増加していない。
		その他専門店 [キャラクターグッズ]（従業員）	販売量の動き	・サッカーワールドカップ需要に期待していたが、アジア以外からの外国人客が目についたものの、横浜店の売上が不振であるなど、大きな成果は上がっていない。
		その他専門店 [燃料]（売場主任）	単価の動き	・仕切り単価の上昇分を、販売単価に転嫁しにくい。
		高級レストラン（支配人）	販売量の動き	・受注件数と売上が若干減少している状況が変わらない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響が、予約以外の客が極端に少ない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップだけが理由ではないが、街には人は集まっているものの、店には客は来ていない。
		都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・サッカーワールドカップの影響で、競合他社の売上が軒並み減少している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・国内外の夏の旅行について、宿泊数が増加しておらず、単価も比較的低いままである。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、野球イベントのスケジュールが変更になるなどして、来客数が減少している。
		パチンコ店（経営者）	競争相手の様子	・6月はサッカーワールドカップの影響があり、夕方から試合を見る人が多く、夜の客が少ない。
		その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	来客数の動き	・サッカーワールドカップ開催で来客数が減少するかと思われたが、予想に反し、多少増加しており、良い状態で変わらない。
		その他レジャー施設 （経営企画担当）	それ以外	・サッカーワールドカップの開催により、ホテル等は高稼働が続いているが、飲食店の来客数は減少している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数が安定している。
		その他サービス [語学学校]（総責任者）	単価の動き	・最近、単価が低い短期間集中コースが売れており、消費者は授業料の高いコースには手が届かない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・積極的にキャンペーン等を行っているが、販売量は3か月間ほぼ横ばいである。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・最近、留袖を見に来た客がいるが、他店の値段と比較しており、値段に関してかなりシビアな交渉が行われた。客の方が強気で、値引き要請が続いており、結論はまだ出ていない。商品が思うように売れていない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・サッカーワールドカップが始まって以来、街中や当店で、客が浮き足立っている。 ・天候不順のため、来客数が減少している。
		一般小売店[雑貨]（経営者）	単価の動き	・サッカーワールドカップ等で人出はあるが、単価が非常に低い。
		一般小売店[パン]（従業員）	お客様の様子	・サッカーワールドカップの影響で、客の出足が悪い。
		一般小売店[靴・袋物]（従業員）	お客様の様子	・夏のセールが目前に迫っていることもあり、客は買い控えている。父の日等のイベント需要は好調であるが、月間の販売を押し上げるほどの効果はない。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・天候の問題、サッカーワールドカップの影響があり、6月の客足は少なく、最近に例がないほどの落ち込みである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・人々の関心がサッカーワールドカップに集中し、開催中の来客数が減少している。 ・クリアランスの開始を待っている客が多い。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響に加え、雨の日が多く、気温も低下している影響で、盛夏物の正規価格品が売れず、衣料品売場は打撃を受けている。
		百貨店（広報担当）	販売量の動き	・梅雨らしい天候で気温も低く、夏物衣料の売行きが不振である。加えて、サッカーワールドカップの日本戦があった日には、来客数、売上とも記録的な大幅減となっている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・食料品はBSE問題の影響は残るものの、自家需要を中心に比較的堅調に推移している。反面、婦人衣料は大型連休以降勢いがなく、苦戦している。
		百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・3か月前には、前倒しで好調な動きをみせた夏物商材が、実需期に入った6月には、婦人関連を中心に苦戦しており、客はセールを待っている。秋色夏素材の端境期ファッションは、販売数は増加しているが、Tシャツが中心で、単価は低い。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で来客数が減少し、その結果が顕著に表われている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・天候が悪く、気温も低いので、盛夏物の衣料品の売上が95%、水着は70%と不振で、食料品は、香料の問題があった菓子関連を含めて95%となっている。また、サッカーワールドカップの日本戦が行われた4日間については、売上が87.9%で、全体でも来客数が94.8%、売上が98%と、やや悪くなっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・添加物問題で、食品全体への不信感が増大している。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・サッカーワールドカップ関連グッズの売行きは比較的好調であるが、日本戦のある日は客がおらず、日本戦以外の試合のある日も影響を受けている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・ギフト券、主にビール券の販売量が低調であり、引換枚数も減少している。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・もともと割引販売をしているが、競合店がかなり単価を下げていることから、割引幅が大きくなり、原価販売に近い商品も出ている。単価は低下しているが、来客数は減少している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・サッカーワールドカップ需要で、3か月前から好調であったビジュアル商品の売上が、6月に入って苦戦している。 ・天候の問題で、エアコン等の販売台数が伸び悩んでいる。
		家電量販店（営業部長）	販売量の動き	・サッカーワールドカップ開催前は、ビジュアル部門を中心に需要が盛り上がったが、期間中は来客数が極端に減り、売上に大きな影響が出ている。
		住関連専門店（統括）	来客数の動き	・土日の来客数が少なく、販売量も減少している。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップが始まり、来客数が増加すると思ったが、客は東京に流れているようである。東京以外の場所でも、客は駅周辺に偏り、来客数は減少している。
		高級レストラン（宴会予約担当）	販売量の動き	・6月はサッカーワールドカップの影響で、宴会部門がかなり打撃を受けている。当ホテルの宿泊部門も、キャンセルが出て、当初見込みを下回っている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響が大きく、来客数が極端に減少している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・7月を迎えるが、個人旅行の受注件数が少ない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・先行きが不安で無駄使いができないと、2kmぐらいなら歩いて帰る人が多くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・毎年6月は相応の忙しさがあるが、今年は雨が降っても客が乗らない。1つ1つの仕事が細かく、売上が伸びない。当該地区において、タクシーが30台増車となっていることが影響している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	お客様の様子	・6月は、客の関心がサッカーワールドカップに向かい、夜の動きが全くない。日本戦のある日には、街に客がいなくなる。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・加入者が増加しない状況の中で、6月は解約者数が特に増加している。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	お客様の様子	・夏季講習の申込の時期であるが、私立中学、高校に行っている生徒たちはお金がないので、講習は受けられないという声が多く寄せられている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・客からの受注が予定通りに決まらない。
	悪くなっている	一般小売店〔茶〕（経営者）	来客数の動き	・6月の来客数は大きく減少し、かつてない水準にまで落ち込んでいる。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が減少している。昨年の夏は、6月20日以降ほとんど雨が降らず、気温も上昇し、夏物衣料や雑貨が好調であったが、今年は気温が低く、雨も多いため、衣料品を中心に売上が大変厳しい。中元ギフト商戦も盛り上がり欠ける。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・天候やサッカーワールドカップに左右され、客が落ち着かない様子である。 ・夏物の前倒しが実需に影響し、気温の低さも売上に響いている。
		自動車備品販売店（経理担当）	来客数の動き	・来客数が少なく、得意先の従業員が時間を持て余しているという話が多く聞かれる。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、外に人が出ていない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップで、来客数が3割減少しており、非常に厳しい。
		タクシー運転手	お客様の様子	・6月はサッカーワールドカップの影響で、売上が10%以上のマイナスとなっており、特に東京では落ち込みが大きい。
		タクシー運転手	お客様の様子	・サッカーワールドカップ観戦のため、人が早く帰り、街中に人がいない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・サッカーワールドカップの試合が夜に実施される場合は、客の帰宅が早い。
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・新規の獲得顧客数が伸び悩み、既存の加入者の解約も出ている。
その他レジャー施設（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップが始まって以降、来客数が減少している。		
住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・6月は広告を出しているにもかかわらず、売出し現場に客が全く来ない。		
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・3か月前と比較し、販売量が5分の1程度に落ち込んでいる。		
企業動向関連	良くもなっている やや良くもなっている	-	-	-
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・6月は、10万円前後の受注が3件あり、そのうち2件は一部上場企業からのものである。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客から新規受注を何件かもらっている。
	変わらない	金融業（渉外担当）	取引先の様子	・近年、減収減益に歯止めがかからず、資金繰りも繁忙であった企業に、ようやく立ち直りの兆しがみえ始めている。リストラへの取り組みで固定費削減に成功し、損益分岐点を下げ、利益を計上できるまでになり、資金繰りも順調に回るようになっている。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに、低調な水準で推移している。
		精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・中国の輸出向け等、やや良くもなっている取引先もあるが、全般的には悪い状態変わらない。
		建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・低額物件に動きはあるが、1億円超の大型物件は極端に減少している。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べ、受注量や販売量が増加しておらず、景気は悪い状態が変わっていない。
		通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・通信機器の買い換えではなく、再リースを選択する客が目立つ。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	金融業（得意先担当）	受注量や販売量の動き	・取引先では、売上回復の目途が立たず、設備投資も控えている。
		広告代理店（営業担当）	競争相手の様子	・薄利での無理な営業が原因で、中堅規模の同業他社が倒産している。
		食品製造業（経営者）	それ以外	・サッカーワールドカップの恩恵を受けるのは一部の企業であり、大多数は悪い影響を受けている。
		繊維工業（経営者）	取引先の様子	・今年の梅雨は、気温が低い上に長引いており、店での衣料品の売行きが悪いと聞いている。受注にも影響が出ている。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・当社が借りている工場の大家は、IT関連の部品メーカーであるが、先週末、会社更生法の適用を申請し、事実上倒産した。また、取引先の板金加工会社が、6月一杯で工場を閉鎖している。身近な企業が廃業や倒産に追い込まれている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・サッカーワールドカップの開催により、ビデオ等のハード関係は好調であるが、ソフトの売上は減少しており、売上は3か月前より24%減少している。
	悪くなっている	金融業（審査担当）	取引先の様子	・公共工事の削減や入札方法の変更により、建設業を中心に受注が減少し、資金繰りに行き詰まり、倒産する企業が出ている。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・土地の仕入れが徐々に難しくなり、特に、中小企業は大企業に仕事を取られている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・どん底の状態が続いていた製造業、特に電機関連企業から、生産活動の好転を要因とする期間雇用の求人が増加している。 ・自動車関連で、受注増を背景とする期間雇用の求人ニーズが出始めている。 ・一時的に落ち込んでいた業務請負企業からの求人申込に、増加の動きが出始めている。
		学校〔専門学校〕（教務担当）	それ以外	・コンピュータ関連の職種への求人は、引き続き多く、内定状況も良い。
変わらない	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・インタ-ネットで検索し、若い求職者が来社するが、アルバイト感覚で自分の都合に合わせて働きたいので、求人側の希望に合わず、採用数は伸びない。	
		それ以外	・サッカーワールドカップ効果で、もう少し求人数が増加すると思ったが、思うようには増えなかった。	
	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・企業または派遣スタッフ側からの契約終了の希望に対して、企業が代替りの雇用を全く考えないか、パートに切り替えてコストの削減を図っている。長期派遣終了後、新たに長期派遣が開始される割合は2分の1程度である。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・半導体メーカーで雇用の動きが多少出るなど、下げ止まり感はあるものの、意識できるほどではない。 ・5月はサッカーワールドカップ関連の求人があり、求人数が増加したが、6月は以前の状態に戻り、5%以上の減少となっている。	
	民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	・最近、リストラ会社から再就職支援会社への登録者が増加し、当社でも45～60歳の登録者が急増しているが、この年齢に合う求人は非常に少なく、採用、紹介が難しい。	
	学校〔短期大学〕（総務担当）	求人数の動き	・求人票の着信数が約3割少なくなっており、1社当たりの採用数も減少している。	
	悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	職業安定所（所長）	求職者数の動き	・新規求人が増加しているが、新規求職者の増加幅も拡大し、求人倍率は低下している。	